

(様式3)

外国人児童生徒等教育アドバイザー派遣結果報告書

都道府県名	栃木県	市町村名	足利市	大学名	
派遣日時	令和7年9月26日(金曜日) 14:15 ~ 16:45 第Ⅰ部 「新任日本語指導担当者研修会」 講話 14:15 ~ 15:15 第Ⅱ部 「第2回日本語指導担当者連絡会議」 講話 16:00 ~ 16:45				
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 派遣 / 遠隔 ※いずれかに○をつけてください。				
派遣場所	足利市立西中学校 マルニ額縁 生涯学習センター				
アドバイザー氏名	市川 昭彦 先生				
相談者(受講者)	足利市教育委員会事務局学校教育課職員 市内小・中学校日本語指導担当教員または国際交流関係担当教員等 帰国・外国人児童生徒教育拠点校日本語教室担当教員 外国人児童生徒教育専門指導員、外国人児童生徒教育支援員				
相談内容等	研修を第Ⅰ部と第Ⅱ部にわけ、それぞれ講話をしていただいた。 第Ⅰ部では、「新任日本語指導担当者研修会」として、今年度より新たに中学校で拠点校が設置され日本語教室を開設することになったため、担当の日本語指導担当教員に対する研修をしていただいた。 第Ⅱ部では、市内全小・中学校の日本語指導担当教員または国際交流関係担当教員等を対象に講話をしていただいた。昨年度は拠点校の日本語教室担当教員及び、外国人児童生徒教育専門指導員や支援員を対象とした研修であった。				
派遣者からの指導助言内容	第Ⅰ部 ○日本語指導について ・英語の強みを生かした指導について ・一人一人に合わせた指導について ○校内での立場について ・情報交換について ・教室名の設定について ・時間割の作成について ・取り出しの条件について 第Ⅱ部 ○講話 「生かそう JSL カリキュラム」 ・DLA 改定のポイント ・JSL カリキュラムとは ・AU とは ・JSL5 支援について				

(様式 3)

相談後の方針の変化、今後の取組方針等	<ul style="list-style-type: none">・本市では、外国人児童生徒が年々増加しており、現在、対象の児童生徒がいない学校でも、年度途中で転入してくることも十分考えられる。そのため、市全体の外国人児童生徒の受け入れ体制を強化し、どの学校に転入してきても、スムーズにサポートできる環境を整備する必要があるため、今後も外国人児童生徒の在籍の有無にかかわらず、全ての小中学校を対象に研修を行っていききたい。・JSL5 支援については、外国人児童生徒以外にも大切な指導であると感じた。様々な機会に折に触れて先生方に周知できるようにしたい。・関係機関と連携し、外国人児童生徒への支援だけでなく、保護者の支援についても検討していききたい。・初期指導の充実。
--------------------	---

1 枚にまとめる必要はありませんので詳細に記載願います。

なお、本報告書の内容は、文部科学省ホームページで公開いたします。